

生来のケチのせいかもしれないが、モノの値段が気になる。適正価格は需要と供給のバランスで決まるといふのは経済学の教科書だけの話であつて、実際はどうやって価格が決まっているか不明なものが多い。だからこそ価格設定の背景にはなんらかの意図やイデオロギーが隠されているともいえるだろう。

1、新潟・両津間の旅客運賃(片道)等は2320円である。ほぼ同距離の広島・松山間の瀬戸内海汽船では3500円。人間だけだったら佐

時々草々

越智 敏夫 (新潟国際情報大学) 情報文化学部教授



1966年愛媛県生まれ。立教大学法学部卒。慶応大学大学院政治学博士課程修了。96年、新潟国際情報大学講師。2006年に教授。専門は現代政治学理論。

は観光バスを利用する客は自家用車の観光客より優遇されている」と見るのは考えすぎだろうか。新潟交通の新潟駅発の地である寺尾近辺まで行くと420円。往復の値段を考えると気軽に買い物に行ける値段ではないような気がする。新潟市だけでなく県内各都市において中心市街地の活性化が課題となってい

戻ってきたら6000円近い駐車料金を払わなければならないことについて行政当局はどう考えているのか。もちろん企業は利潤を追求し、管理者は財政健全化に努めるのは当然だろう。しかしどこから収益をあげ、どこに予算を配分するかは千差万別である。公共交通に限らず、世の中の価格を細かく見て行くと、それぞれの企業や行政組織の個性、性格のようなものが浮かびあがってくる。

個性映すモノの値段

路線バスは新潟島のなかであれば200円だが、市街地西部の住宅地である寺尾近辺まで行くと420円。往復の値段を考えると気軽に買い物に行ける値段ではないような気がする。新潟市だけでなく県内各都市において中心市街地の活性化が課題となってい